



進路だより 第5号

令和4年9月15日(木)
愛媛県立北宇和高等学校

2学期も始まり、体育祭、生徒会役員選挙等、学校行事もいくつか終わり、秋の気配が少しずつ感じられるようになりました。

3年生にとっては就職試験や受験が始まり、進路が徐々に決定していく季節でもあります。体調管理に気を付け、今まで準備をしてきたことを全て出し切ることができることを願っています。

今回の進路だよりは ①面接試験 ②持続可能な人材 という高校生の現在と未来にとって有効な話を書かせてもらいます。

面接試験

就職試験、大学・専門学校を受験をする上で欠かせないものは面接試験です。8月頃から3年生が一生懸命面接の練習をしている姿を目にした1・2年生もいるのではないのでしょうか。

面接を得意とする人も苦手とする人も、受験の際は面接という関門を突破しなければいけません。どの企業も学校も面接試験の占める割合は非常に大きくなっています。就職試験は俗に「学力20%、人物80%」といわれ、どの企業も人物本位の採用方針をとっています。人物を見るには面接をすることが一番確実な方法であり、そのため、筆記試験でいくら高得点を取っても面接で落ちる人もいます。企業も学校も志望者(受験者)の人柄を最も重視しているということです。

面接の際の評価基準として明るく元気な挨拶や返事ができるか、身だしなみが整っているか、意欲(熱意)があるか、自分の意志を持っているか、意志を伝えられるか等、たくさんあり、一朝一夕で身につくものではありません。面接力は普段の生活や部活動等の中で、コミュニケーション能力を向上させ、まず、自分に足りないと思うこと、今できることから準備を始めましょう。

持続可能な人材

近年、コロナ禍で日常生活、学校生活、仕事の在り方に変化がもたらされています。

それと同時に人工知能を使用した仕事も増えてきており、残念ながら人工知能によって奪われていく職もあるそうです。

しかしどんな業種でも将来的に失業の心配がない人材、持続可能な人材として「高い専門性と企画・提案力」「相手を納得させるプレゼン・コミュニケーション力を兼ね備えたプロフェッショナル」であることが重要なことだと多くの企業の人事部が話しているという文献があります。

今所属している部活動等に、仲間とともに、コミュニケーションを取りながらより高いスキルを身に付けていくことや、趣味で始めた料理、英会話、興味のある教科を深く学んでいくことで将来的に必要とされる人材に少しずつ近づいていくことができます。

人工知能によって奪われる心配がなく、生き残る仕事として次のような仕事が挙げられているので参考にしてみてください。

レクリエーションセラピスト 最前線のメカニック、修理工
緊急事態の管理監督者 メンタルヘルスと薬物利用者サポート
聴覚医療従事者 作業療法士 義肢装具士
ヘルスケアソーシャルワーカー
口腔外科 消防監督者 栄養士 施設管理者
振り付け師 セールスエンジニア（技術営業）
内科医 外科医 指導（教育）コーディネーター
心理学者 警察 探偵 歯科医師 教員 など

1・2年生はどのような進路選択を自分がするのか、全く決まっていない人もいればほぼ確定している人もいて、たくさんの不安があると思います。

面接では持続可能な人材であるかどうか、という観点からも評価されます。今のうちからたくさんの経験をし、何か一つ以上「芸（高い専門性）」を身に付けることができるよう、一日一日を大切にしましょう。